

# FREEDOM

## リーダーガイド

そして、あなたがたは真理を知り、  
真理はあなたがたを自由にします。

ヨハネ 8:32

# はじめに

これをきっかけに人生が変わるかもしれません。あなたが信仰の旅路のどこにいたとしても、このカリキュラムは真理(神について、信仰について、自分自身について)へと一歩踏み出させることでしょう。

これは、キリストが私たちを自由にする **Freedom** です。パウロがガラテヤ 5:1 で書き、またイエス様ご自身がこの世に来たのは私たちがいのちを豊かに受けるためであると言われました(ヨハネ 10:10)。豊かな人生を想像してみてください。やっつき生きる人生ではなく、本当に生きている姿をです。つまり、希望に満ち、喜び、目的に満ちた日々。そのような人生を神は常に私たちに意図されているのです。

神はあなたと関係を築きたいと願っておられ、この世と天の架け橋として、独り子イエスを送られました。それであなたが彼を知ることができるようになったのです。この旅路は簡単ではないかもしれませんが。しかし大きな報いがあるでしょう。今期、自由と解放を見出すために、どこまで旅に出るかは、あなた次第です。ここにエレミヤ 29:13 の約束があります。「もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つかるだろう。」(新改)

自由 (*Freedom*) の探求は、今日始まります。

## 第一週 リーダーガイド

今週は、セクション 1 のビデオをグループで見ます。

ビデオは [www.koinonia.jp](http://www.koinonia.jp) の教会員のページから見るができます。

### グループを始めるにあたって

- ・ 今期、どのようなことをするのかをグループのお一人お一人にお知らせください。毎週、各セクションでは、ディスカッションがあるため予習が必要であり、発表や自分の気持ちを言う時間があることなどです。参加者に全カリキュラムに出席するよう励ましてください。予習をすればするほど、中身の濃い時間となることでしょう。
- ・ 各週の集まりがどのようなものになるのか、グループに説明してください。各人の時間を尊重するために、何時から始まり、何時には必ず終わることを伝えてください。参加者が流れを理解することによって、何を期待してよいのかを知ることができます。
- ・ **Freedom** カンファレンスの日時をお知らせください。今から予定をあげ、必ず参加するように励ましてください。
- ・ SG 内で分かち合われた個人的内容は、いかなる理由を問わず、SG 外で話されることはありません。もし、この SG が安全な場所でなかった場合、SG を中止することがあることを伝えてください。つまり、グループ内で分かち合われた内容(祈禱課題を含む)は、他の場所や人に話されることがないことを確認してください。
- ・ 悪しき者からの攻撃が必ずあることをお伝えください。そのために、私たちは共に祈り合うのです。

## 毎週の流れ

- ・ 食事やお茶をする場合は、先に簡単にするのが良いでしょう。心を開く準備ができます。(約 20 分)
- ・ 賛美を 1 曲流し、心と思いを落ち着かせるようにします。(約 5 分)
- ・ テキストを要約して、皆の理解を確認します。また、その週の学びから多くを得ることができるよう、グループのメンバーをディスカッションへと促し、前進できるように助けてください。何をディスカッションすればよいのか等の「ディスカッション・ガイド」は毎週分、用意されています。(約 80 分)
- ・ 祈りの時間を確保してください。全体で、あるいは少グループで、または 1 対 1 で祈る場合もあります。この領域においては、グループの必要に敏感になってください。1 対 1 の祈りは、カンファレンス参加時の大切な準備となります。(約 15 分)

**ヒント:** 参加者に祈祷課題をライングループの「ノート」に挙げてもらうと良いでしょう。各人のプライバシーを保護したい場合は、個人的に連絡をもらってください。リーダーは、毎日、グループのメンバーのために祈りを覚えてください。

---

## 要約

聖書に出てくる 2 番目の話は、エデンの園にある 2 つの木についてです。つまり、善悪の知識の木といのちの木。なぜこれが 2 番目の話なのかというと、クリスチャン生活の全ては、この 2 つの

木の概念を通してやってくるからです。神はアダムとエバに 2 つの木から選択肢を与えられました。私たちにも、どちらの木のうち生きるのか、選択肢が与えられているのです。善悪の知識の木は、「神に近づくためにもっとしなければならぬ」と言います。神に認められようと頑張り続けなければなりません。いのちの木は、「イエスが既になされた事実と、あなたを愛している事実を受け入れよ」と言います。善悪の知識の木の考え方は、義務感から従うようになりませんが、いのちの木においては、喜びから仕えるようになります。

いのちの木のうち生きるための 4 つの応答があります。

1. イエスを愛す
2. 規則によってではなく、関係によって神に仕える
3. すべての罪に対していのちで応答する
4. 逆戻りから心を守る

## ディスカッション・ガイド

- あなたはどの木のうち、日々の選択をしていますか？
- 神に近づくため、神に認められるために、「更にしなさい」という自分がいますか？もしそうなら、どんな風ででしょうか？
- 宗教と関係の違いは何ですか？あなたは神に義務から、あるいは喜びから、どちらで従っていますか？
- 神との関係や他の人との関係において、いのちを選択できる具体的なあなたの方法はありますか？

## 適用

第二週(来週)のレッスンを読みながら、これからの一週間、善悪の知識の木の行動や反応をしてしまっている部分は、どのようなことか見つけてきてもらう。それらが発表できる内容なら、どのようなものだったか、来週、分かち合ってもらおう。

## 祈り

参加者の中に、まだイエス・キリストを明確に信じ受け入れていない方がいる場合は、その方の心が準備されていれば、受け入れの祈りを勧めてください。あるいは、自分はクリスチャンだが、神との個人的関係を経験していな方にも、以下の祈りを勧めてください。

### 救いの祈り:

神様、  
あなたへの道を作るために、独り子を十字架の上で死なせてくださったことを感謝いたします。私は、イエス・キリストというあなたからの大きな贈り物を受け取ります。私の人生の主人として今、心にお入りください。私の人生をあなたに明け渡します。聖霊で私を満たし、あなたの願われる歩みをさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。アーメン。

これからの12週間、毎日グループのメンバーのために祈りましょう。特に、SGにおいて健康的で良い関係を築くことができるように。参加者お一人お一人が、SGを飾らない安全な場所と感じることができるように。各メンバーに用意されている神様の素晴らしい計画を、全員が経験することができるように。祈りましょう。

## 第二週 リーダーガイド

### 要約

#### いのちの木

自由、解放、恵み、永遠のいのち、神は善、神は赦される方

#### 善悪の知識の木

束縛、律法、死に至らせる、神はただ裁き主、私たちは罪に定められる

善悪の知識の木から実をとって食べた後、アダムとエバは身を隠しました。しかし、神は彼らを探しに来られたのです。神は罪ある人を愛し、独り子イエスを送られました。それは人々を救い出すためなのです。

善悪の知識の木の実についての真理:

- ・ 実とは知識。知識を得ることは間違ったことではないが、なぜそれを得たいのかという自分の動機を吟味しなければならない。自分自身を高めたいのか？それとも神の知恵や分別を得たいのか？神に倣いながら神の知恵を用いることは、より神に似た者へと成長させます。この世の知恵は、神を遠ざける罪へと導きます。

- ・ 実とは死をもたらす。知りたいという願望は、信頼したいという願望と対立する(正反対)。アダムとエバは、実を食べた時、身体的にすぐには死ななかったが、霊的に死んだ。

- ・ 実とは吸収される。考えが私たちの心に吸収されて、罪をはらむ。最初の罪は、エバがアダムに話したことによってであった。その会話を通して、彼らはその考えを摂取し、吸収し出した。この一連の流れは、罪とは行動で始まるのではなく、私たちの心の中で始まるものであることを教えてくれる。

・ 実は分離をもたらす。実を食べた後、神が人からご自身を分離されたのではなく、アダムとエバが神から隠れた。神は彼らを愛していたので、探した。神の私たちに対する心を知るなら、罪を犯したら神から身を隠すのではなく、神に走り寄る。人生で何が起こったとしても、自分の人生は自分で責任を持つ。神と自分の関係の質について、人のせいにはできない。

善悪の知識の木は、恥と被害者意識をもたらす。恥は神からの分離をもたらし、被害者意識は自分の人生や魂の状態を、責任転嫁や言い訳するようにさせる。

## ディスカッション・ガイド

- ・ 第一週(先週)の適用: 参加者にこの一週間、善悪の知識の木から行動したり、反応した例を分かち合ってもらおう。
- ・ 過去の出来事で、神から身を隠したいと思うようなことはあるか？
- ・ あなたは神との関係の基礎を、神に対する知識に置いたことがありますか？
- ・ 「宗教と律法」対「神との関係からくる自由と恵み」という戦いに巻き込まれる時は、どのような場合でしょうか？
- ・ あなたは恥を克服しましたか？恥を克服する方法は、神が私たちをご覧になる見方で、自分自身のことを見ることです。この Freedom SG の期間、ものの見方を神の見方へと修正する方法を学びます。私たちの心に神に働いていただきましょう！



## 適用

第三週(来週)のレッスンは、いのちの木について更に詳しく見ていく。参加者に、一週間、どのようにいのちの木の思考で行動したり、反応したりしているか注意を払ってもらうように促す。来週、その具体例を分かち合うことができるように準備してもらう。

## 祈り

- ・ お一人お一人のうちにある、あらゆる間違った神観が取り除かれますように。私たちを探しておられる愛の父として、神を見ることができるよう祈りましょう。
- ・ 参加者が恥や被害者意識から行動している領域はないか、聖霊に示していただくように求めましょう。

## 第三週 リーダーガイド

### 要約

いのちの木に生きる実:

- ・ いのちの木は、神との交わりへと導きます。豊かな人生(いのち)を経験する唯一の方法は、生きておられる神を本当の意味で知ることによってです。しかし、神のイエスの犠牲を通しての私たちに対する惜しみない愛の表現の後にのみ、神は私たちに神を愛することを求められました。
- ・ 神との交わりが、純真へと導く。その逆ではない。私たちが神と共に歩む時間を多く過ごせば(神の声を聴き、神に話しかけ、神に従い、神を礼拝し、神を喜ぶ時)、私たちの外側だけではなく内側にも変化が起こることに気づくでしょう。私たちは神の御前にガラス張り、丸見えの状態であっても、恥ずかしいと思わなくなるでしょう。
- ・ 純真さは、神の力の管となる。私たちが神を慕い求め、人生を明け渡す時、すべての良い働きのために神は私たちを整えてくださるのです。
- ・ 純真さは、自由へと導く。私たちは罪を犯し、墮落するにもかかわらず、いのちの木の態度のうちに罪を犯すと、すぐに赦しを受け、再び立ち上がることができます。

## ディスカッション・ガイド

- ・ 第二週(先週)の適用: 先週一週間、いのちの木の思考で行動したり、反応したりした例を分かち合ってもらおう。
- ・ あなたは神の御前で完全に純真だと感じますか？  
神と本当の交わりを持つとはどのような感じだと思いますか？
- ・ あなたは子どもとして生きていますか？ あるいは、奴隷として生きていますか？
- ・ あなたの日々の反応や決断は、他の人にいのちをもたらしていますか？ あなたは何の木のうちにいることが多いですか？

## 適用

神との交わりを始めることによって、いのちの木の実を結ぶ具体的ステップに踏み出すよう、参加者を励ましてください。つまり、日々のデボーション(QT)、聖書通読、祈りの重要性を強調してください。

## 祈り

- ・ いのちの木に生きることは、日々の選択であることを、参加者全員が理解することができるように祈りましょう。
- ・ 父なる神の偉大な愛をさらに経験することができるように祈りましょう。その愛を経験し、他の人に愛を恵みを注ぎだすことができるように祈りましょう。

## 第四週 リーダーガイド

### 要約

神は私たちを3つの部分から造られました。贖われるべき霊、回復されるべき魂、明け渡すべき肉です。救われた時、私たちの霊はキリストの内に生きるようにされ、すぐさま神の御前に義しい者とされます(ローマ 3:24, 5:1)。聖書ではこれを義認と呼び、「罪を犯したことの無い者」とされるのです。しかし、魂と体がキリストに似た者に至るには時間と労力を要します。この段階的な過程を聖化といいます。神は私たちの霊を、3つの部分の中で最も大切なものとし、私たちが誰で、何をするかの「指令センター」として造られたのです。

私たちの魂もまた、3つの部分から造られています。知性、意志、感情です。魂は関係を経験させ、周囲の美しさに気づかせるようにしてくれます。私たちは考える知性、意志、感情をもって神の像に造られています。神は私たちの体を地から形造られました。体は一時的な家、または魂と霊を守る殻の役割を果たしています。体には、良い欲求と悪い欲求があります。聖書は、肉欲のままに犯すいかなる罪にも気をつけるように言います。肉を魂に従わせ、魂を霊に従わせ続けるなら、霊的優位に生きることができ、神の声にチャンネルを合わすことができるのです。

霊的優位性は、いのちの木の内に生きるための枠組みとなります。あなたの霊が神と繋がって生きるようになり、また魂と体が霊に従うようになります。霊的優位性の内に生きることには、素晴らしい益があります。神の守り、霊的成長、そして苦難に打ち勝つ力などです。思い出してください、神は罪に定めることをせず、罪を示されます。神の御心にそった罪に対する悲しみは、悔い改め、すなわち、「方向転換」へと導くのです。霊的優位に歩むためには、聖霊の力が必要です。聖霊は私たちの助言者、友、導き手であり、真理を示してくださるお方です。

## ディスカッション・ガイド

- ・ あなたの霊が贖われ、義しい者とされたことを知るなら、自分自身への見方は、どのように変わりますか？
- ・ あなたの考えは感情によって左右されていますか？（魂）
- ・ あなたの行動は肉欲によって左右されていますか？（体）
- ・ あなたは自分の霊を養うために何をしていますか？（霊）
- ・ あなたは、自分の体、魂、霊のどの部分を一番養っていますか？
- ・ 霊的優位を保つために、あなたの霊を意図的に養うことのできる方法には、何がありますか？
- ・ 霊の内に歩む益とは何だと思いますか？

## 適用

この一週間、いつ自分の肉や魂が最も強いかに認識してきてもらいましょう。また、霊が優位になる時はどのような場合か、具体的に経験し、次週、分かち合ってもらいましょう。

## 祈り

- ・ 霊的に優位でない領域を示していただき、正すことができるように祈りましょう。
- ・ 参加者お一人お一人が、御言葉、礼拝、祈りを通して、神をより知りたいという願いが増しますように。そのようにして、霊的優位に歩むことができるように祈りましょう。

## 第五週 リーダーガイド

今週は、セクション 2 のビデオをグループで見ます。

ビデオは [www.koinonia.jp](http://www.koinonia.jp) の教会員のページから見ることができます。

### 要約

このビデオは、カリキュラムの第二セクションの内容(明け渡すこと、赦し、話す言葉の力)について語られます。

あなたの心の状態は、外側の兆候に現れます(誘惑に負けたり、落ち込んだり、怒ったり、情欲に溺れたり等…)。これらの兆候が出現したら、問題は深刻であり、内側と関連があるのです。心には 4 つの障害物があります。利己心、苦々しさ、拒絶、悪い考えです。利己心という障害物を取り除くためには、積極的に自分自身を神様に明け渡さなければなりません。苦々しさは、他の人によってもたらされた傷を握りしめることによって発生し、私たちの心の障害物となるのです。また、障害物を取り除くためには、赦す生活を送らなければなりません。私たちの人生に蒔かれた拒絶という種も、障害物となりえます。しかし私たちは、神のことばの力を通して、神に受容されるということを見出し、拒絶という呪いを無効にすることができるのです。悪い考えは、聖くないものに接したり、自分に嘘を付き欺く時に発現します。悪い考えは、神のことばの真理と置き換える必要があるのです。私たちが自由と解放の中に生きるためには、心からこれらの障害物を取り除く必要があります。そのためには、3つのステップを踏む必要があります。聖霊様に、何が自分の心の障害物となっているのかを示していただき、心が変わるように聖霊様をお招きしましょう。あなたを満たしていただくことによって、心がただ善いものだけで満たされますように求めましょう。

## ディスカッション・ガイド

- ・ 先週の適用： いつ自分の肉や魂が最も強かったですか？ また、霊が優位になる時はどのような場合でしたか？ 具体的に、分かち合ってもらいましょう。
- ・ 心の4つの障害物(利己心、苦々しさ、拒絶、悪い考え)の中で、どれが最もあなたを自由にするのを阻んでいますか？ それをどのように妨げとえていますか？ その障害物を取り除くために、どのような具体的ステップを踏むことができるでしょうか？
- ・ 神に明け渡していない領域はどこですか？ なぜ、それを明け渡せないのだと思いますか？
- ・ 自分の言葉に力があると考えたことはありますか？ あなたは普段、いのちのことば、または死のことば、どちらを多く使っていますか？

## 祈り

- ・ 障害物(利己心、苦々しさ、拒絶、悪い考え)が、神が私たちに用意されている全ての善いものを受けられないようにしているということを認識することができるように。
- ・ 聖霊様に心を開き、障害物が何かを示していただき、心を変え、祝福され、真理で満たされますように！

## 第六週 リーダーガイド

### 要約

キリストにある人生においては、降伏する、つまりキリストに支配を明け渡すことは、自由への第一歩です。明け渡す人生には信頼が必要です。その信頼は、関係の中で建て上げられるものです。イエス様は天からこの地に来られ、空腹や痛み、拒絶を経験されました。鞭打たれ、十字架で死なれ、その三日目に墓からよみがえられたのです。それにより、イエス様はご自身の愛を示され、私たちから信頼を得、私たちとの関係を築くことができるようにされたのです。

神をもっと知りたければ、友達を知っていくときにすることをする必要があります。共に時間を過ごすことです。特別なことをする必要はありません。重要な鍵は、神を人生にお迎えすることです。みことばを学んだり、祈りを通して神を求めたり、親密な関係を築いたりして、自分の霊を養う時、主はご自身を啓示してください。神の考えは、私たちの考えからは程遠く、遥かに偉大です。クリスチャンにとって、神があなたに準備された豊かな人生を送る唯一の方法は、完全に人生を明け渡し、何事も神のみこころをなすことなのです。

神は全ての主となることで、私たちの人生をより良くしたいと願っておられます。それは、私たちが霊的優位性のうちに歩み、神が支配するときのみです。自分で握っているものは何でも、自分で持続しなければならぬ責任がありますが、もし神に人生の全ての領域を明け渡すなら、神はこの旅のパートナーとなられ、最終目的地まで安全に連れて行ってくださることでしょう。神に全てを明け渡すとき、自分のやり方より、この願いをかなえられる神が備える道のほうが遥かに良いということがわかるでしょう。



## ディスカッション・ガイド

・ あなたは生活のどの領域を、完全に神に明け渡していませんか？

その領域において神を信頼することになぜ困難を感じるのだと思いますか？

・ 今週、人は自分が最も価値を置くものを礼拝するのだということを学びました。神との関係以上に、価値を置いているかもしれないものは、何だと思いますか？

もしそれらより、心を尽くして神を慕い求めるなら、あなたの生活はどのように変えられると思いますか？

・ 誰かとの関係を主に明け渡す必要がありますか？もしあるとしたら、その関係はあなたと神との関係を、どのように壊していると思いますか？その関係を明け渡したら、あなたの生活はどのように変えられると思いますか？

・ 「傷のない関係を保つ6つの方法」のうち、どれが一番心に響きますか？それはなぜだと思いますか？

・ あなたの過去、現在、将来を神に明け渡しましたか？

自分のやり方よりも神の備えられた道の方が良いということ信じますか？また、それはなぜですか？

## 適用

参加者お一人お一人に、自分の人生(生活)のどの領域を主に明け渡す必要があるかを考えるように促しましょう。今週、その領域について祈るように勧めてください。そしてそれらの各領域に対するみことばを選んできてもらい、次週分かち合ってもらいましょう。

例):「お金」を明け渡す必要がある。

選んだみことば:

「だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということとはできません。」(マタイ 6:24 新改)

「金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは、金を追い求めたために、信仰から迷い出て、非常な苦痛をもって自分を刺し通しました。」(1テモテ 6:10 新改)

## 祈り

- ・ 神に明け渡す必要のある領域を主に示していただけますように。
- ・ お一人お一人の心が柔らかくされ、主に明け渡すこととは何かを理解することができますように。主に支配していただくことこそが、自由と平安をもたらすことであるということを理解することができますように。

## 第七週 リーダーガイド

### 要約

墮落した世で生活する私たちは、痛みや傷の現実には直面します。赦せない心を抱くことは、毒を飲みながら他の人が死ぬのを待っているようなものです。赦せない相手よりも、自分に対する害の方が遥かに大きいのです。傷は、敵が私たちを束縛へと誘惑させるために使う餌のようです。傷は自分に壁を作るのです。壁は悪いものを寄せつけませんが、良いものも跳ね除けてしまいます。私たちの心の周りに築いた壁によって、痛みや拒絶からだけでなく、愛やいのちある関係からも守りに入ってしまうのです。自分の心を守るのは自分自身だと思いがちですが、神は、その任務は神ご自身にあると言います。

### 赦すことに葛藤する理由

1. 赦しを誤解しているためです。赦しは傷を過小評価することではなく、また、過去の経験を忘れることでもありません。また赦すことと和解は異なります。和解は双方向で、悔い改めと償い、信頼回復への努力を要します。
2. 理不尽だと感じるためです。私たちの思いの中では、彼らが赦しを受けるのに値しないと判断します。しかし神は理屈で赦されたり、善行の故に赦されるのではありません。だから、ただ神の恵みに感謝です。なぜなら私たちも赦しに値しない者なのですから！私たちは充分すぎるほどに赦されているのですから、既に受けているものを他の人にも与えるべきです。赦された者は赦すのです！
3. できないと決めつけているためです。私たち人間の力では、私たちに対して犯された大きな過ちを赦すことはできないかもしれません。しかし、私たちは、神の超自然的な力によって強められるのです。赦しは選択であり、感情ではありません。日々、選択する必要があります。

自分がまず赦される経験をしないと、他の人の悪を赦すことはできません。赦すことに葛藤するのは、神がしてくださったことを完全に理解していないからかもしれません。私たちの過去、現在、そして将来の罪は完全に赦されています。それは、神が私たちの罪を忘れてくださるといふより、思い出さないでいてくださるのです。それは、神が私たちとの関係を築きたいと強く願われているからです。

どうすれば、私たちは自分の心を聖く、傷つかないように保つことができるのでしょうか？まず、自分の不完全さを認め、本物の敵（人ではなく、悪魔）を見、神の赦しと愛を受け取ることです。赦すことを日々選択し、赦しへの日々のステップを覚え、自分を傷つけた人のために祈り、祝福し、善を行うのです。

神の赦しを受けることは、時に難しく感じます。私たちは犯した失敗によって立ち止まり前に進めず、神の計画の内に歩めなくなるので、敵は私たちに失敗を思い出させるのです。変えることのできない辛い経験を思い出す度に、自分の過去を何度も繰り返し悔い改めなければと感じます。この考えは、善悪の知識の木から来るものなのです。私たちは、自分の力で赦しを得ようする必要はありません。赦しは、信仰によって神からの無償で受けるものなのです。過去の過ちが頭に思い浮かぶ時、真理を知り、真理を語ることによって悪に打ち勝つのです。赦すことは勇気と力が必要です。みことばは、私たちが新たに生き、過去からも解放された義の道に導いてくれます。そこには罪悪感も、覆い隠すものも、恥もなく、ただ自由があります。

## ディスカッション・ガイド

- ・ 先週の適用：主に明け渡す領域について祈りましたか？  
その領域は何でしたか？  
それら各領域のためのみことばを選んでできましたか？そのみことばを発表してください。
- ・ このレッスンを読む前、赦しについて誤解していたことはありますか？  
あなたは誰に、どのような赦せない心を抱いていますか？
- ・ あなたは過去の罪に対する神の赦しを受け取りましたか？  
もしまだなら、何が妨げとなっていると思いますか？
- ・ あなたがすでに赦されている罪に視点を置いたとき、あなたに不当な扱いをした人を手放すことができますか？  
あなたは神からの赦しを、あなたを傷つけた人を握り続ける権利と引き換えますか？
- ・ あなたの生活の中で、神に手放せていない人はいますか？  
あなたは彼らに仕返ししようとしていますか？

## 適用

お一人お一人に白紙を配布し、そこに赦す必要のある人の名前を書いてもらいましょう。今週、その方々のために毎日祈るように勧めましょう。また最後にグループ全体で、「自由を宣言する」の宣言を声に出して読むことも一つの選択です。

## 祈り

- ・ お一人お一人が、主の赦しを真に受けることができますように。主の赦しを経験することによって、自分を傷つけた人を赦すことができますように。
- ・ 誰を赦す必要があるかを聖霊様が示してくださいますように。赦す力を与えてください。
- ・ 人生の傷を癒してください。そして、傷のない人生を歩むことができますように。
- ・ 赦しを求めた(悔い改めた)にもかかわらず、過去の過ちを思い出し、罪責感を覚えることがあるなら、その領域について特別に祈りましょう。

## 第八週 リーダーガイド

### 要約

箴言 18:21a(新共)は、「死も生も舌の力に支配される。」と書いています。私たちの言葉は、神にどれくらい魂を明け渡しているかを示す霊的尺度です。神に明け渡し、聖霊に満たされた人生は、恵みと憐れみ、愛、力に溢れた言葉を生むでしょう。

ことばによって、神は全宇宙を創造し、ことばによって、私たちに話しかけてくださいます。言葉、言語は神のアイデアで、神のことばは、文字通り私たちにとっていのちなのです。神は人をご自身の像かたちに似せて造られたので、私たちの言葉にも力があります。口を開いて話すたび、私たちはいのちの御国か、死の王国かのいずれかを拡張するのです。私たちは救われたとき、天国に即座に送られはしませんでした。なぜなら私たちはイエス様の体の器官だからです。失われた者を探し、この世に違いをもたらすためのイエス様の手、足、心、そして口なのです。

私たちの言葉は、人を破壊することも、建て上げることもできるのです。神は私たちに、建て上げ、癒し、励ます、いのちのことばを語ることを願われています。

いのちのことばを話すことができるようになるために、まず、私たちは心を守る必要があります。私たちの耳から入ってきて魂を満たそうとする余計なものを制御する必要があります。また、舌を守る必要もあります。尺度は何かの最大値を測ったり割り出したりするために使うツールです。悪い言葉を言わないと決断しなければいけません。今日、その決断をし、その決断を日々成し遂げる必要があります。そしていのちのことばを語るには、良い言葉をお話しなければなりません。難しいこと、否定的に聞こえることを言わなければならない時でも、他の人を祝福し、励ますような話し方をすることができます。

もしあなたが否定的な言葉を受けている立場にあるなら、感謝なこと、あなたは完全に癒され、それらの言葉の影響から自由になることができます。

以下のステップを通して祈りましょう。

### 1. 告白する

癒しは、自分が間違っていたと認めることから始まります。まずは、今まで真実でないことを信じ、敵の嘘に同調していたということを認めなければいけません。

### 2. 悔い改める

悔い改めとは方向転換することです。悔い改めるとき、方向を変えて、今までの道とは反対の方向に進んで行くのです。今までのように敵に同調するのをやめ、思考を新たな方向に向かせます。誰かがあなたの人生で、嘘を押し付けてあなたを傷つけたことがあるなら、彼らを赦し主に手放すのです。

### 3. 追い出す

敵に、私たちに対する破壊的な言葉や出来事を用いさせ続けるはいけません。イエスの御名の権威により、敵に去るよう命令するのです。

### 4. 祝福する

一度敵が追い出されれば、みことばのうちに見出すことのできる真理と約束でその場所を満たしましょう。神があなたを見る正確な視点を宣言し、自分自身に対していのちを語りましょう。



## ディスカッション・ガイド

- ・ 先週の適用： 赦す必要のある人たちのために毎日祈りましたか？ 彼らのために祈ることによって、あなたと主との関係はどのようなものとなりましたか？ また、あなたのモノの見方に、どのような変化がありましたか？

- ・ あなたの日々の会話は、自分の霊的状态をどのように語っているのでしょうか？

あなたの言葉は、神が自分の内に住まわれているということを映し出していますか？

- ・ あなたは言葉を意図的に用いて神の御国を拡張し、隣人に仕えようとしていますか？

- ・ あなたは自分自身についてや、他の人について言う事柄で、話してすぐに後悔することはありますか？

あなたの言葉に注意するために、具体的にどのようなステップを踏むことができるのでしょうか？

- ・ もし分かち合うことができるのなら…

他の人から言われたことのある死と呪いの言葉は、どのようなものですか？

自分自身に対して言ったことのある死と呪いの言葉は、どのようなものですか？

他の人に対して言ったことのある死と呪いの言葉は、どのようなものですか？

- ・ 「勝利の声明」について話し合しましょう。悔い改め、死の言葉を追い出し、それぞれの状況に対するみことばを宣言することによって、いのちのことばを語りましょう。

## 適用

ディスカッションの最後に、以下のような力強い時間を持つことをお勧めします。一枚の紙を配布し、誰かからかけられた、あるいは、自分自身にかけた呪いの言葉を書き出してもらいます。その後、もう二度とその言葉を負い続ける必要がないことを象徴するように、その紙を破ります。そして死の言葉を真理と置き換えるように、神のことばを用いるように勧めてください。最後に、お一人お一人に祈ってもらっても良いでしょう。

## 祈り

自分自身の言葉には力があることを理解することができますように。お一人お一人にかけられた、いかなる死の言葉をも打ち破ることができるように祈りましょう。

## 第九週 リーダーガイド

### 要約

イエス様のその同じ力が、みことばのうちにあります。みことばが生活の中で現実となるために、真理を受け取る必要があります。時に、みことばに力がないと感じるなら、それは、みことばが変わったからではなく、みことばと信仰を別で考えてしまっているからです。イエス様を愛したいと思うなら、みことばを通してイエス様を知り、みことばを人生の優先事項にするのです。更に力強められたいと思うなら、更にみことばを取り入れる必要があります。

みことばが生きたものとなるために、私たちには神の霊が必要なのです！聖書は、生きたものとなり、イエス様の真のご品性を表し、あなたの人生を本当に変えることができます。「レーマ」とは、ギリシャ語で「ことば」で、その意味は「啓示されたことば」です。みことばが啓示される時、神の語られることばは、みことばが成就するための力となるのです。

神のことばを生活で生きたものとするには、神のことばを優先し、読んだことを信じ、みことばを黙想することです。神のことばを黙想する素晴らしい方法の1つは、神のことばを声に出して言うことです。あなたの霊を強めるために、聖書の中から声に出して読む宣言を見つけましょう。もう1つの方法は、昼も夜もみことばを思い巡らすことです。あなたの世界と神の世界をひとつにするのです。また、黙想を実践に移すことです。一日を通して、聖書箇所を選び、学ぶのです。神のことばに従順に歩むなら、神の約束は成就されるのです。黙想は啓示となり、啓示は信仰を生きたものとし、信仰が生きたものとなるなら、物事に変化が起こるのです！

## ディスカッション・ガイド

- ・ あなたは定期的に神のことばを取り入れ、自分の古い考え方や真理を入れ替えていますか？もしそうでないなら、何がみことばを読むことの妨害になっていると思いますか？
- ・ あなたは聖書を義務感から読んでいますか？  
それとも、神を知りたいという思いから読んでいますか？
- ・ あなたの生活にみことばをより取り込むには、どのような具体的方法があると思いますか？
- ・ 神の「レーマ」を体験したときのことを分かち合ってみましょう。神のことばが日常生活のある状況の中で、生きたものとなった経験を分かち合ってみましょう。

## 適用

今の自分の生活にピッタリのみことばを選び、なぜそのみことばが今必要なのか、来週分かち合ってもらいましょう。

## 祈り

お一人お一人の心に神のことばに対する飢え渴きを与えてください。神のことばが生きた啓示となって、示されますように、主に求めましょう。

## 第十週 リーダーガイド

今週は、セクション 3 のビデオをグループで見ます。

ビデオは [www.koinonia.jp](http://www.koinonia.jp) の教会員のページから見ることができます。

### 要約

セクション 1 と 2 では、Freedom SG を始めた当初、なぜ私たちは自由ではないのか、2 つの理由を分かち合ってきました。つまり、セクション 1 では、私たちが自分自身の罪、すなわち、善悪の知識の木を選択しているために自由を失っていること。そしてセクション 2 では、他の人の私たちに対する言動によって、解放を経験できていないことを見てきました。これら 2 つの要因以外に、もう 1 つ私たちが自由にしないものがあります。それは、あなたの人生に悪い計画を持っている敵の存在です。悪魔は現実に存在し、私たちが破滅することを願っていることを知る必要があります。しかし、悪魔は上の権威、すなわちイエスの御名とみことば、十字架の血潮には従います。霊的戦いに勝利するために、私たちは神に従い、悪魔にすきを与えず、日々、敵に立ち向かわなければならないのです。

### ディスカッション・ガイド

- ・ 敵があなたを攻撃するパターンは、ありますか？あなたの日々の生活の中で、敵の典型的攻撃は、どのようなものですか？

- ・ 敵に強く立ち向かうために、今あなたがすきを与えてはならない具体的なことは、何ですか？今、あなたはどこにすきがあると思いますか？

- ・ 敵との霊的戦いに勝利するために、あなたができる具体的な策は、どのようなものですか？

## 適用

付録にある「神の武具」を参照し、各武具を通して日々祈ることによって、神の武具を身に着けるように参加者を促しましょう。

## 祈り

- ・ SG のメンバーの人生を盗み、殺し、破壊する敵の計画に気がつくように祈る。

- ・ 私たちには敵と戦う力があることを認識することができるように祈りましょう。私たちは勝利のために戦っているのではなく、既に勝利しながら戦っていることを覚えることができますように。

## 第十一週 リーダーガイド

### 要約

全ての人はそれぞれに違ったキリストとの歩みのうちにいるのです。ひとりとして同じ背景を持つ者はなく、ひとりとして初めから銀や金である者はおらず、プロセスなのです。今のプロセスに満足していないなら、神はあなたを次のレベルに引き上げたいと願っておられます。神は私たちを備え、聖め、尊い者へと変えられるお方です。あなたは過去によって定められたり、制限されたりしません。神は、全てを新しくされ(Ⅱコリント 5:17)、あなたを尊い器にしたいと願っておられるのです。

義認は、救われるときに起こるものです。イエス様を救い主とするその瞬間、私たちの過去の罪は洗い流されます。しかし聖化は、瞬時ではなくプロセスです。聖化とは、神が私たちの品性を練り聖める旅路なのです。

クリスチャンとしてのこの旅路の最終段階が、しもべとなることだと知り、意外に思ったかもしれません。クリスチャンとしての最大の目標は、神が私たちを造られた目的を果たすことであり、そのためには神のしもべになる必要があるのです。私たちが尊い器となるためには、3つのステップがあります。体をささげ、心を新たにし、意思をゆだねるのです。体に気をとめるなら、意識的に罪を避ける選択ができるのです。罪は体で働きますが、心が体を支配しています。罪は、心から生まれるのです。敵の目標は、あなたの心に、神の考えに反したものを植えつけ、心の中で論争させることです。戦いは、世の考えと神の考えを入れ替えることです。私たちの考えを神のことばの真理に合わすなら、平安が私たちの心を治め、支配するでしょう。体が罪を犯し、心が体を支配しますが、意思が心を支配するのです。意思を神にゆだねるなら、神の完全な御心が私たちの人生の動機になります。

御国のために用いられることは、私たちの人生における最大の栄誉ですが、犠牲が伴います。私たちが目的のうちに歩み始めるとき、敵の注意を引いてしまうからです。敵の攻撃を見込んで、攻撃は激励のサインと受け取りましょう。つまり私たちが闇で世を

覆っている敵の計画を脅かす存在になっている証拠だからです。攻撃にあうとき、あなたは神のものであり、敵はその事実を変えることができないことを覚えましょう。「私たちの内におられる方は、この世の内にある者よりも力がある」(Iヨハネ 4:4)ので、私たちは誘惑に打ち勝つことができます。そのために、私たちは神と会話し続ける必要があるということです。率直なコミュニケーションは、私たちを安全で目を覚まし続けます。束縛から解放されるためには、罪を悔い改め、闇の力を振り払う必要があります。悔い改めれば、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめると言っています。しかし、罪を何度も告白し悔い改めても赦されたと感じないときがあります。もしあなたがそのように感じているなら、それは罪に結びついた悪霊を追い出す必要があるからかもしれません。これによって、その領域における悪魔の支配を打ち砕き、神の赦しにある完全な平安を経験するでしょう。

尊い器になるためのプロセスは、全体を見ると少し圧倒されてしまいがちですが、日々の小さなことに忠実でいることで、大きな進歩を遂げるでしょう。毎日意識的に神との時間を取り、決断に迫られる度、いのちの木の考えを適用しましょう。このようにして、あなたは人々の前に光を照らしはじめ、闇を追い払って、失われ、傷つき、孤独なこの地を希望で溢れさせるのです。

## ディスカッション・ガイド

- あなたは、今の神との関係に満足していますか？  
どのように人生を変えたいと願いますか？
- もし分かち合えるようなら、以下の質問をしてください。  
あなたの生活のどの領域を、聖霊に取り扱っていただき、聖められる必要がありますか？
- 義認と聖化の意味をおさらいしましょう。参加者が、義認は瞬時であり、聖化は私たちを尊い器にするためのプロセスであるこ



とを理解しているか確認してください。

・ あなたが神に用いられる能力について、敵はどのような嘘をあなたについていますか？

・ 敵の声を黙らせるために、あなたの心を神のことばへと新たに  
にする具体的な方法は何ですか？

・ サタンがあなたの生活の中で足掛かりにしているかもしれない領域(例えば、拒絶・虐待・自己嫌悪・自己卑下・低い自尊心  
落ち込み・プライド・赦せない心・貪欲・罪責感・恥・情欲・性的不  
道徳・怒り・恐れ)は、何ですか？

それらの悪しき者が足掛かりにしているものを、1.告白、2.悔い  
改め、3.追い出す祈りを、参加者に説明し、自由のうちに歩むこ  
とができるように祈りましょう。

## 適用

尊い器の概念を分かりやすく説明するために、紙皿と高級皿  
を用意してください。そしてその二つの違いについて話し合っ  
てみましょう。そして参加者に質問してみてください。それぞれ  
のお皿はどのようなときに使用されるのか？どのような食べ物を置  
くのか？どのようなお皿になりたいか？私たちは全員、尊い器に  
なることができます。選択するのは、あなたなのです！

## 祈り

参加者の目が開かれ、敵の足掛かりに気づくことができるよ  
うに。そしてその領域に大胆に立つ上がることができるように祈り  
ましょう。

## 第十二週 リーダーガイド

### 要約

私たちに対する神の愛を本当の意味で理解するとき、神に信頼を置き、神との関係が親密になると、私たちも神への愛が多く育まれるのです。神を愛するなら、「宗教的必須要件」が関係の喜びへと変わります。神を知り、神の命令に従うことは、私たちにとって喜びなのです。礼拝とは、イエス様を愛するときに起こる自然な応答です。礼拝は実に、サタンと悪しき力に対する戦いの行為なのです！詩篇 149:6 では、「口には神をあがめる歌があり／手には両刃の剣を持つ。」(新共)と言っています。

エゼキエル 47:1～12 に、幻の中で神の臨在を象徴する川が出てきます。私たちが神との関係に踏み入るとき、顔まで浸からないよう人生をコントロールし、つま先を地面から離さないでおこうとする傾向があります。しかし神は、私たちが神を信頼し、より深くまで行き、神の臨在による満たしを体験するようにと招いておられます。神に支配を明け渡すとき、私たちは神の愛の流れに乗って、神との旅を自由に楽しむことができるようになるでしょう。神が信頼するに値する方だと分かれば、私たちは躊躇せず支配を手放し、霊的優位性のうちに生きることができるようになるのです。

### 真の礼拝者となる方法

#### 1. 神に愛を示す

神はあなたと、ただ歌うだけではなく、約束の(献身的で、破られない)契約関係を築きたいと願っておられます。神はあなたに、神の臨在を求め、喜んでほしいと願っておられます。神はあなたの最善をささげるに値するお方なのですから、溢れ出す心から神を礼拝しましょう。

#### 2. 無条件の礼拝をコミットする

真の礼拝とは、気分が乗らなかったとしても、神をたたえること

を意味します。神に条件付きで近づくことが当たり前になっているかもしれませんが。人生が上手くいっているときは神をたたえますが、物事が上手くいかないと、手を抜いてしまいます。良い時も悪い時も、神は礼拝を受けるに値するお方なのです。生活の中でどんなことが起こっても、神を礼拝する姿勢を持ち続けるのだと、コミットをしなければならないのです。

### 3. 日々の生活に神を招き入れる

日常の世界が「教会の世界」と違って見える時、生活を区別して、神を私たちの心に入れないようにしてしまいます。生活の全ての領域に、神をお招きするのです。生活の全ての領域に神に入っているかどうかで、神にどのくらい明け渡しているかが明らかになります。私たちのすること全てに神を招き入れることで、日々、礼拝の時をささげることになるのです。

### 4. 従順する

私たちが神にささげることのできる最大のいけにえは、無条件の従順によって神に仕える謙遜な心です。このような礼拝を神は喜ばれます。

### 5. 畏敬を示す

私たちの神は全能であり、最高の、考えには及ばない、他に並ぶことのないお方です。恐れと尊敬をもって神に近づくことが、ふさわしい態度なのです。真の礼拝には、主に対する畏敬が必要です。神を恐れ愛するとき、私たちは計り知れない偉大さの守りの下に身を避け、安全なのです。

## ディスカッション・ガイド

- ・ あなたは礼拝者として生活していますか？  
もしそうであるなら、どのようにしていますか？  
もしそうでないなら、礼拝者として生きるために、生活の何を変える必要があると思いますか？
- ・ あなたの礼拝は、真心から出ていますか？  
日常生活で賛美の空間を作り出すために何をしていますか？
- ・ 礼拝の 4 つのレベルを見て、今のあなたはどのレベルだと思いますか？  
次のレベルに行くためには、具体的に何をすれば良いと思いますか？
- ・ 一日を通して、主を礼拝することができるようになるために、あなたにできる具体的な方法は何ですか？

## 適用

今週は、礼拝についてのディスカッションにより焦点を合わす準備のために、賛美の時間をいつもより長くしてみましょう(2~3曲)。

今日が Freedom カンファレンス前の最後の SG です。カンファレンスの後にも集まる日時(Freedom セレブレイション)を皆で決めましょう。そして、今期 SG とカンファレンスで受けた恵みを分かち合う時間にしましょう。

## 祈り

- ・ 参加者一人一人が、真の礼拝をする生活を送ることができるように祈りましょう。今期の SG で得た霊的成長を奪う敵を追い出しましょう。
- ・ お一人お一人が必ず Freedom カンファレンスに参加でき、神が用意されているものを全て経験することができますように。

## Freedom セレブレイション

Freedom セレブレイションとは、参加者が今期の SG とカンファレンスで主から受けた恵みを分かち合うためのものです。

参加者に、事前に以下の質問をしてください。

- 今期、あなたが学んだ最も力強い真理は、何ですか？
- Freedom カンファレンスで主は何をあなたにを教えられましたか？